



# 新潟市の治水・減災に 関する取り組みについて



H28.8.4 平成28年度水害に強い  
信濃川下流域づくり推進協議会 説明資料



# 内水対策の取り組み

## ポンプ場の整備

①山田雨水ポンプ場  
(新潟市西区山田)

②白根水道町ポンプ場  
(新潟市南区白根水道町)



# 内水対策の取り組み

## ①山田雨水ポンプ場

排水量：10.8m<sup>3</sup>/秒

工事予定：H26～30年度



## ②白根水道町ポンプ場

排水量：11.7 m<sup>3</sup>/秒

工事予定：H23～30年度



# 内水対策の取り組み

## 田んぼダム

・・・新潟市一部区域で実施

- ・田んぼの貯水機能を活かして、農地や宅地を浸水から守る
- ・田んぼダムによる効果



田んぼダムなし



田んぼダムあり

順次、田んぼダムの整備を進めていく予定

# 「にいがた防災アプリ」による防災情報の提供

- 「市民」、「土地勘のない旅行者」に的確な避難行動をしてもらうことを目的とし、災害時の危険箇所や避難所の方向を視覚的にわかりやすく表示するアプリを無料ダウンロード配信している。
- 住民の自主的な避難行動を支援するため、アプリを利用した防災訓練、公共交通機関を利用した広報(観光客へのPR・周知)などを通じ、さらなる普及促進が必要となる。

## 1. 事業概要

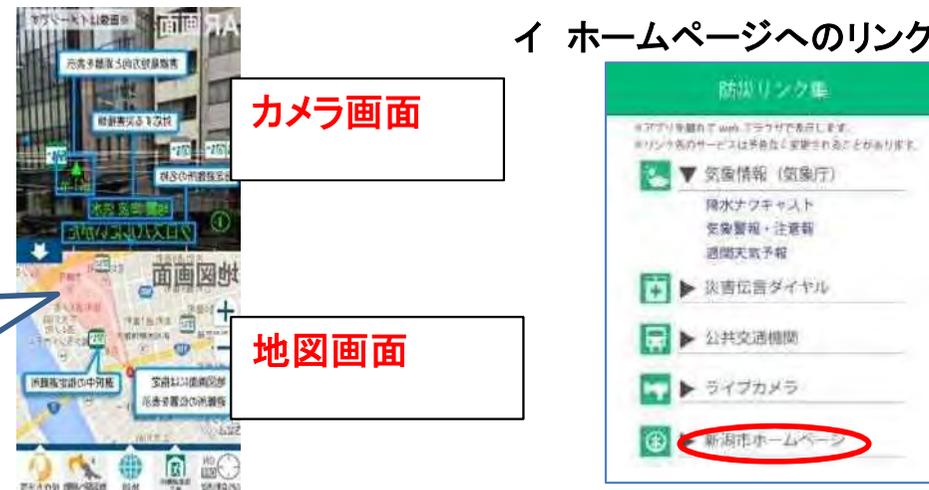
- 「新潟市民」、「土地勘のない旅行者」に的確な避難行動をしてもらうことが目的。
- 災害時の危険箇所や避難所の方向を視覚的にわかりやすく表示。

### (1). 一次開発(H27.3月より配信開始)

#### ア 現在位置から見た避難所の表示機能



#### イ ホームページへのリンク機能



## 2. アプリ普及の取り組み



- (ア) 防災イベントでの普及啓発(防災フェスタ、さわやかトーク)
- (イ) 市報にいがた・テレビ放送を利用した広報
- (ウ) 区民生活課でのチラシ配布(市外からの転入者へ配布)

# 「にいがた防災アプリ」による防災情報の提供

## 3. 二次開発 (H28.3月より配信開始)

### ア. 災害時に役立つ地図を表示する機能

- ① 土砂災害ハザードマップ
- ② 洪水ハザードマップ
- ③ 浸水ハザードマップ
- ④ 道路冠水想定箇所マップ



①土砂災害ハザードマップ ②、③洪水・浸水ハザードマップ ④道路冠水想定箇所マップ

### イ. オフラインでも地図を利用可能とする機能



### ウ. 夜間における避難行動のための懐中電灯機能



ライトボタンをタップすると  
内蔵のライトが点灯する

## 4. ダウンロード実績

- (1) 目標値
  - 1年目: 1,000件
  - 2年目: 5,762件 (東京都特別区平均)
  - 3年目: 15,000件 (東京都特別区最大)
- (2) ダウンロード数:
  - 4,265件 (H28年7月29日現在)

## 5. 今後の展望

- (1) アプリを利用した防災訓練
- (2) 公共交通機関を利用した広報  
(観光客へのPR・周知)